

LoveLive! FanBook

ラブマキ!! 恋姫

LOVE
MAKI
Vol.6
-あの雨天の出会い-



DOJIN
R18
FOR ADULT ONLY
18歳未満の購入・閲覧禁止

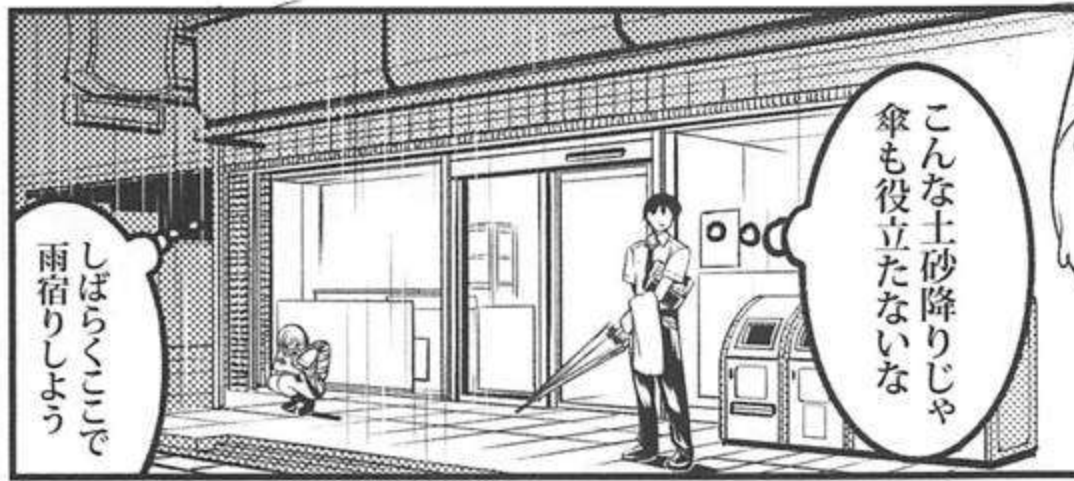
WINDARTEAM
2019 SUMMER



恋姫
LOVE
MAKI
Vol.6
-あの雨天の出会い-

チクショーー！
またこんな深夜まで
残業させやがって！

物語は最初の頃
あの雨の日の夜に遡る



女子高生が一人で
ここで何を……？

夜中の
11時にこんなところで
一人で雨宿りを……

あゝかわいい
下着が透けてる



あれ
泣いてるのか……



目が合った！

やべえ





あの

何があったか知らないが
こんな時間に女の子
一人じゃ危ないぞ

ほら
傘をやるから

さっさと
帰れよ

ね
おじさん

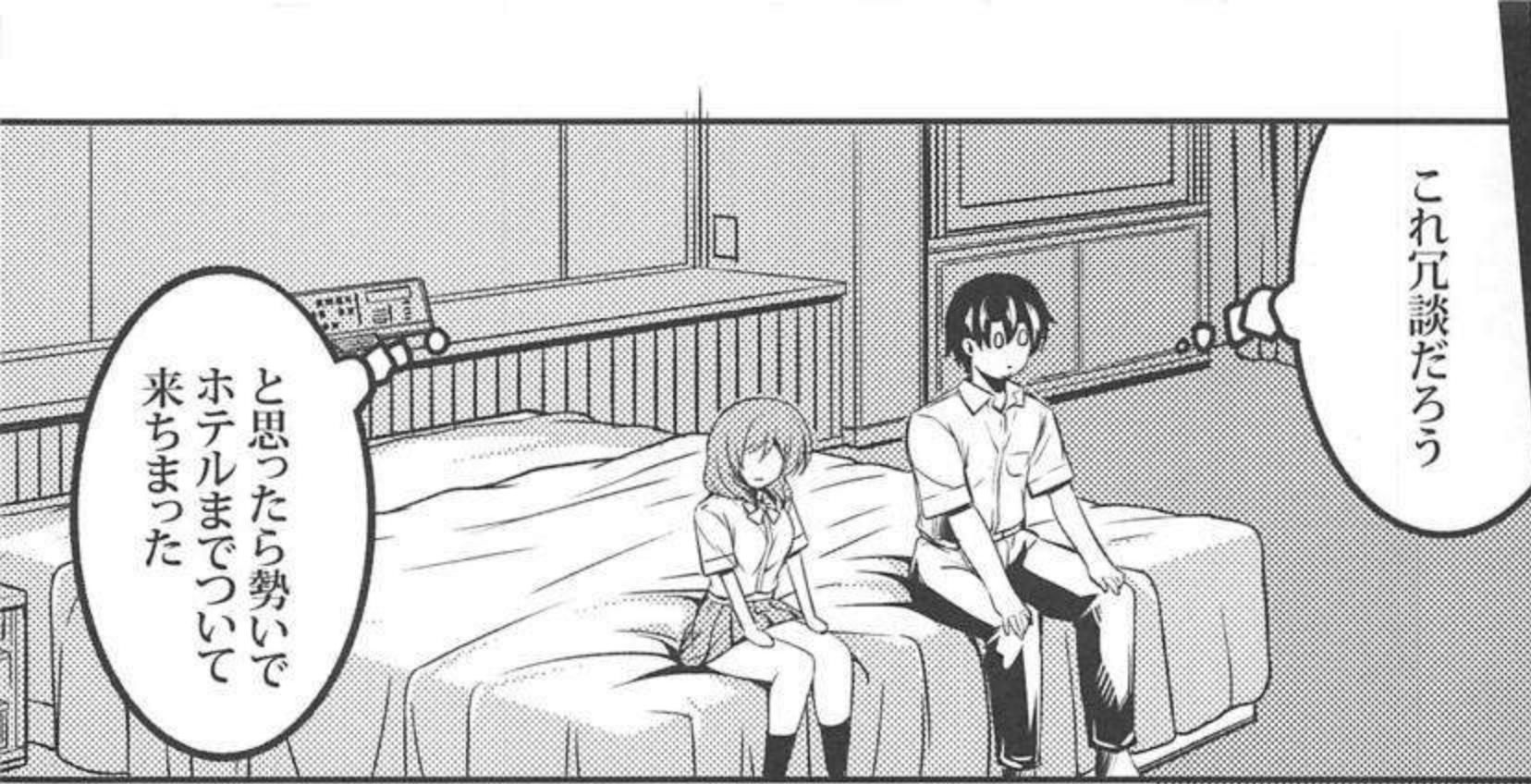
えっ...
おじ...さん?

察するには
おじさん
経験豊富だよな?

私と
セックスしない?

この娘
何言ってるんだ?

ホテルで



これ冗談だろう

と思ったら勢いで
ホテルまでついて
来ちゃった



新しい
詐欺方法
じゃないん
だろうな…?

美人局とか



真姫

真姫…

って呼んで…



!?

あの…



うわあー
生JKだ…かわいい…



始めよう……
おじさん〜



近っ!



いい匂い
彼女の体からうつつすらとした
いい匂いが漂ってくる!

ちよ
ちよと待って
やっぱり……!



生意気してん
じゃねえ!



もういい
大人なんだから
もじもじしないで〜



ほら

体が
正直なんだから〜

もう
勃っちゃってるよ



君の前にはもう
五人もの女とやったんだ
生意気すんな

ほっほー

それは
期待できるね



すべすべだ!

このちようどいい
サイズのおっぱいもたまらない!



びしょ



さつき……
オナつてたから……
いつでもいいよ……

よし
それじゃ

見た目によらず
こんなにエロ娘とはね



下はもう
完全に濡れてるね

びしょ

びしょ

しゅゅ……



おじさんの…
本当に大きいね〜

入れるぞ!

ゴム…

ぬるる…



ひゅー!



うん…

びい!

ちゅ



あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

キ、キツい!



えへへ

君……!!
バージンなの…

おじさん
ベテランじゃないの？

こんなことで
引いたりしないですよ？



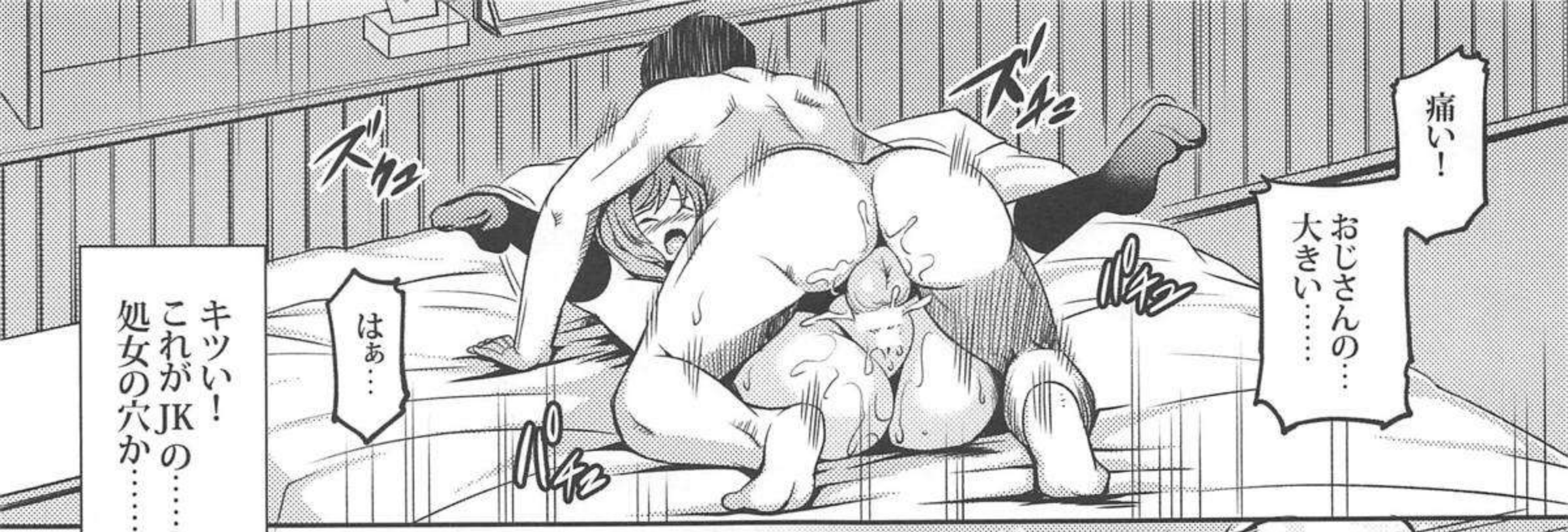
俺はまだ35才だ
「おじさん」じゃない！

痛い



やっつゝゝゝ…





痛い!

おじさんの…
大きい……

はあ……

キツい!
これがJKの……
処女の穴か……?



すごい!
気持ちいい!

イクぞ!



乱暴にやっちゃまった
処女なのに……

しまった

びん

フィル……

今の最悪な
初体験なんだけど

おじさん
責任とってくれる？

今後もよろしくね
てへ〜♡

びん

その後も
真姫は絶えず
セツクスを求めて来た

西木野…真姫
本名とはね…

彼女は近所の
音乃木坂学院に通う
高校高校一年生だ

爽やかなショートヘアで
実にかわいい娘だ
なんてこんなことしてるんだろう

今時の若者の
思考は読めないものだ



ああ

真姫の真意が
分かってきた

徐々
にはあるが

HOTEL
REST 4,500
STAY 9,000



はあ

ああ...ヤバい

こんな
自虐的な笑みは

この感覚
気持ちいい!

楽しんでいると言うよりは
ストレス発散に近い
ストレスによる
自傷行為と同じ理屈だ

どうやら
よくないことをたくさん
経験したようだ
それでセックスを
通して現実逃避している



ただ俺を
セックスの道具代わりに
使っているところが
ちよつとムカつく



びあ

ああ

はあ

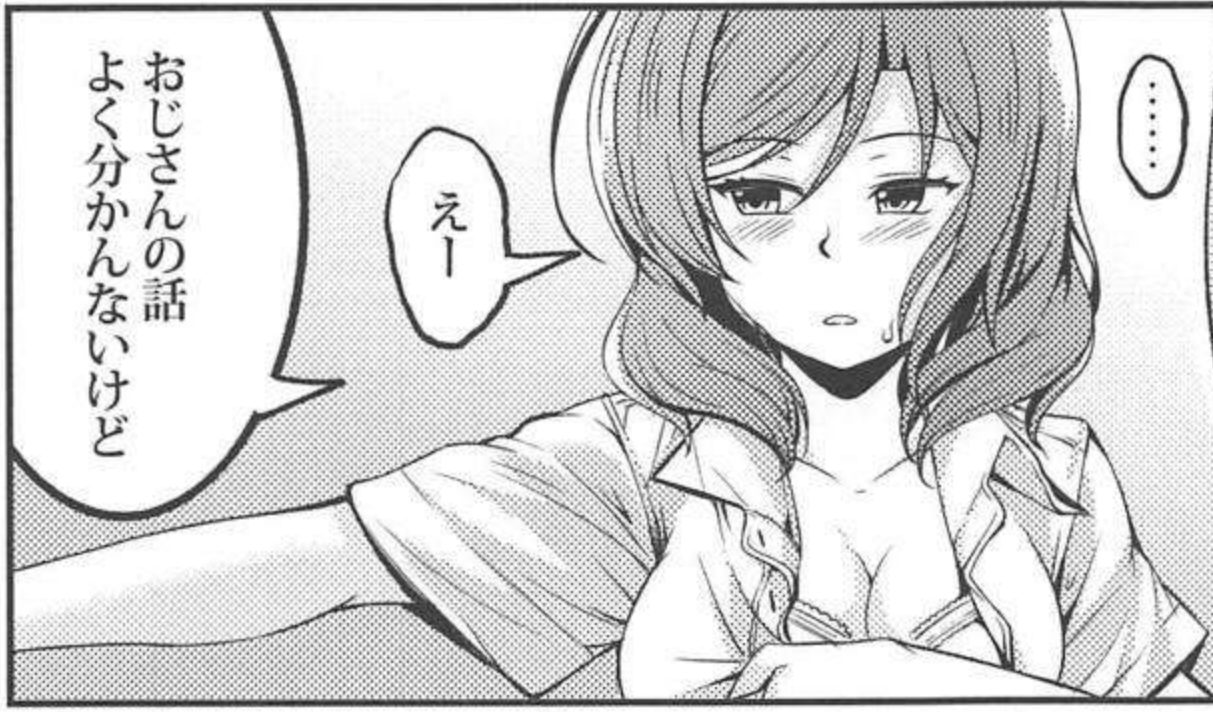


ねえ、真姫
もうやめようか

？

どんなつらいことが
あったか俺には
知らないが

自分を傷つけるのを
もうやめないか？



……

えー

おじさんの話
よく分かんないけど



このままじゃ
問題解決できず

ますます泥沼に
ハマってしまうだけだ

チエツ



ああ、
おじさんだって
楽しくやってるんじゃない

独り善がりしてんじゃないよ



もう、最悪！

真姫？

帰るわ！



全く
説教しかできない
嫌なおじさん
になっちゃったな



そうだね、俺なんて
真姫のことがまだ
全然知らないのんい



独り善がり、か…？

その後
真姫が連絡を
寄こすことはなかった

やっと空
が晴れた

本当は彼女に
謝ってじっくり
話したんだが

頭の中に
真姫の顔が
絶えず浮かんできて
なかなか去っていかない

仕事
仕事
仕事

冗談はもうやめよう
流石に年の差が
開きすぎている





真姫!

今からそっちに
向かう!



ここにもいない?

どこに
いるんだ!





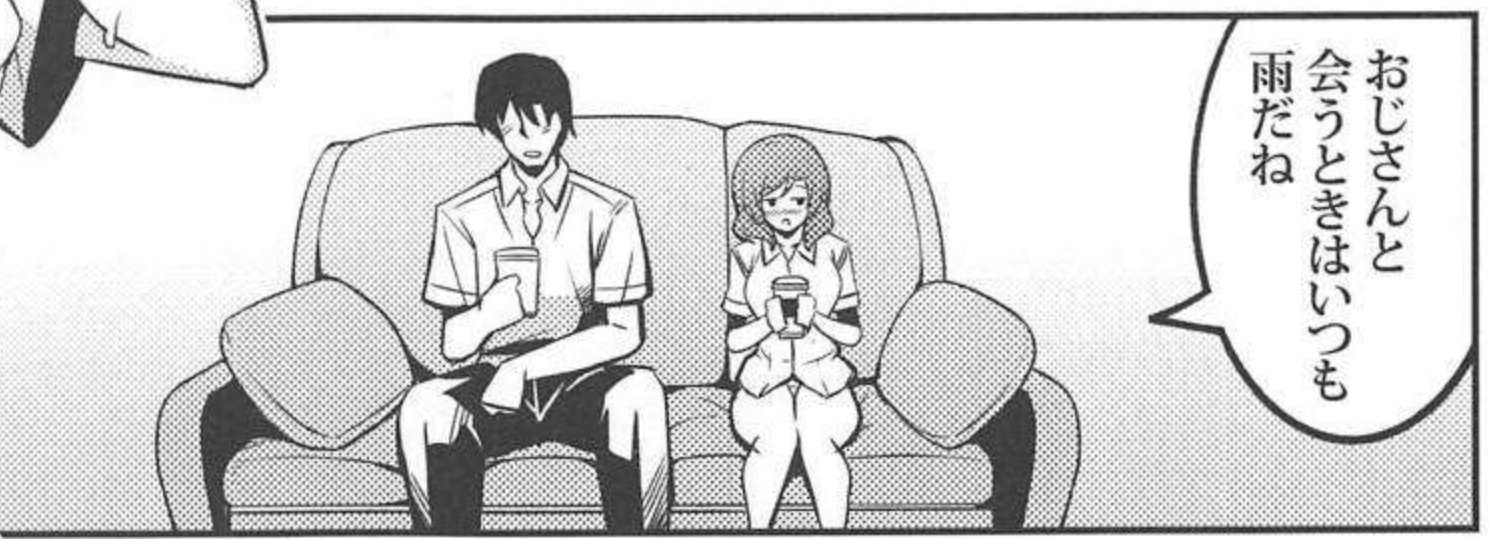


ふあ...



どう?
気分は少し
良くなった?

うん...
ありがとう...



おじさんと
会うときはいつも
雨だね



その前は...
調子に乗りすぎて
悪かった

俺なんて
真姫のことを
全然知らないのに



もちろん



ねえ...
ちょっと聞いてくれる?

彼女は
最近経験したツライことを
赤な他人である
俺に全部話した

彼女は幼少の頃から
ずっと二人だった



高校に進学して

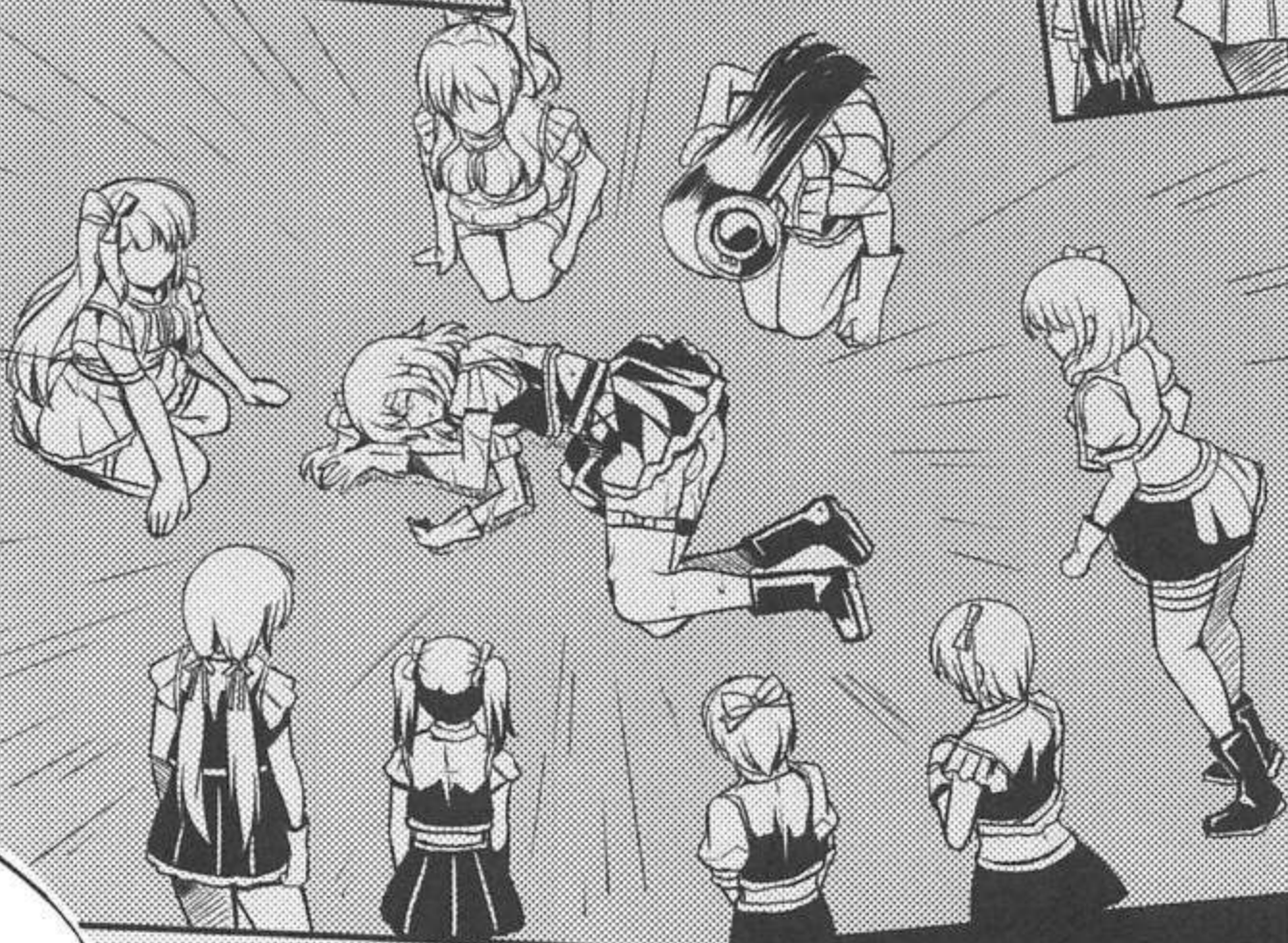
スクールアイドルの
活動を機に

たくさんの友たちができ
共に努力してきた



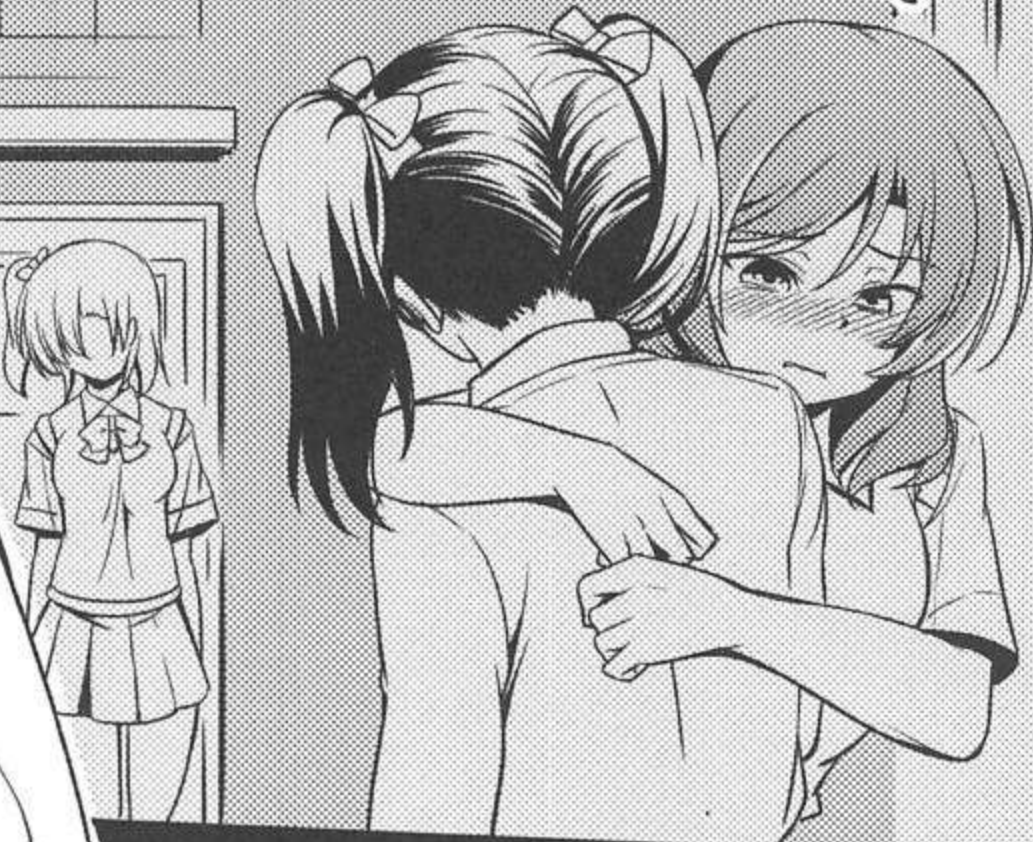
彼女にとって
この全てが大切なものだった

しかし
ステージでの事故で



仲間の間で
考えが割れて

全てが崩壊してまた
一人に戻ることが怖くなった





だから真姫も心配しすぎなくて良いと思う

真の友情はそんなに脆いものだろうか？

君たち若者のこと俺はよく分からないが

……

自分にプレッシャーをかけすぎるな



リラックスしよ



うん、いいぞこの雨が止むまでずっと側に居てあげる

俺ができるのは彼女のプレッシャーを解放するだけだ大人の方法で



慰めてくれる？せめて今晚だけでも……



もう……どうすればいいか分からない

おじさん……



今までじっくり見てなかったけど

ひい!

驚いたか? 前にも俺は女性経験豊富って言ったろ?

いああ!

綺麗だね 真姫の体は

今まではしつかり準備できなかったけど

今晚は前に覚えたテクニクで真姫に真の快感を体験させよ



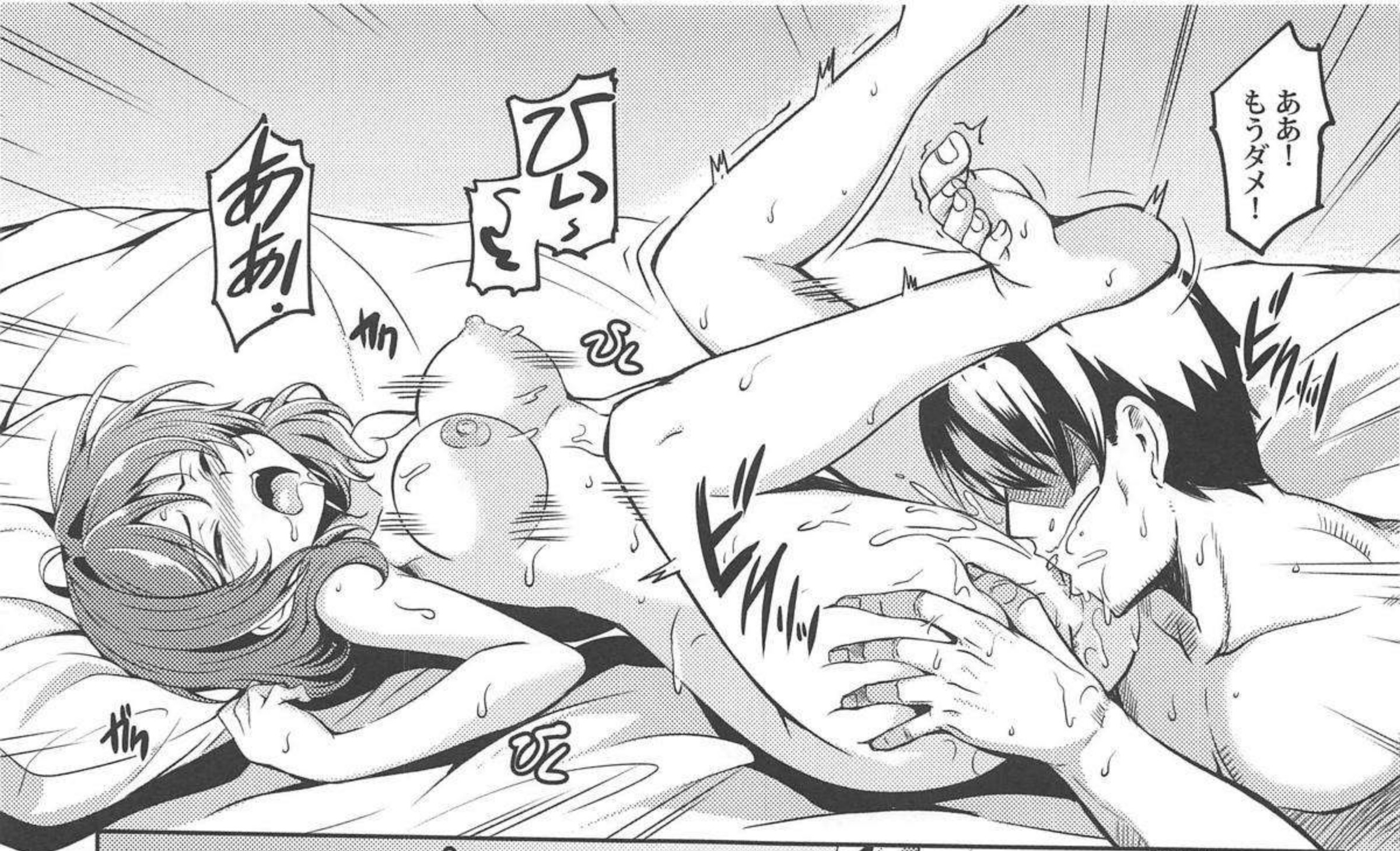
それにしても

前と違いすぎる...

あー!

前戯をしつかりやったら

その後の感じ方が大きく変わるさ



ああ！
もうダメ！

あお！

びしょ

あ

びしょ

あ

びしょ



よわわっ...

びしょ

びしょ

イッたね
真姫っで思ったより
敏感だな



うん……



そろそろ

本当の気持ちよさを
教えてあげよう

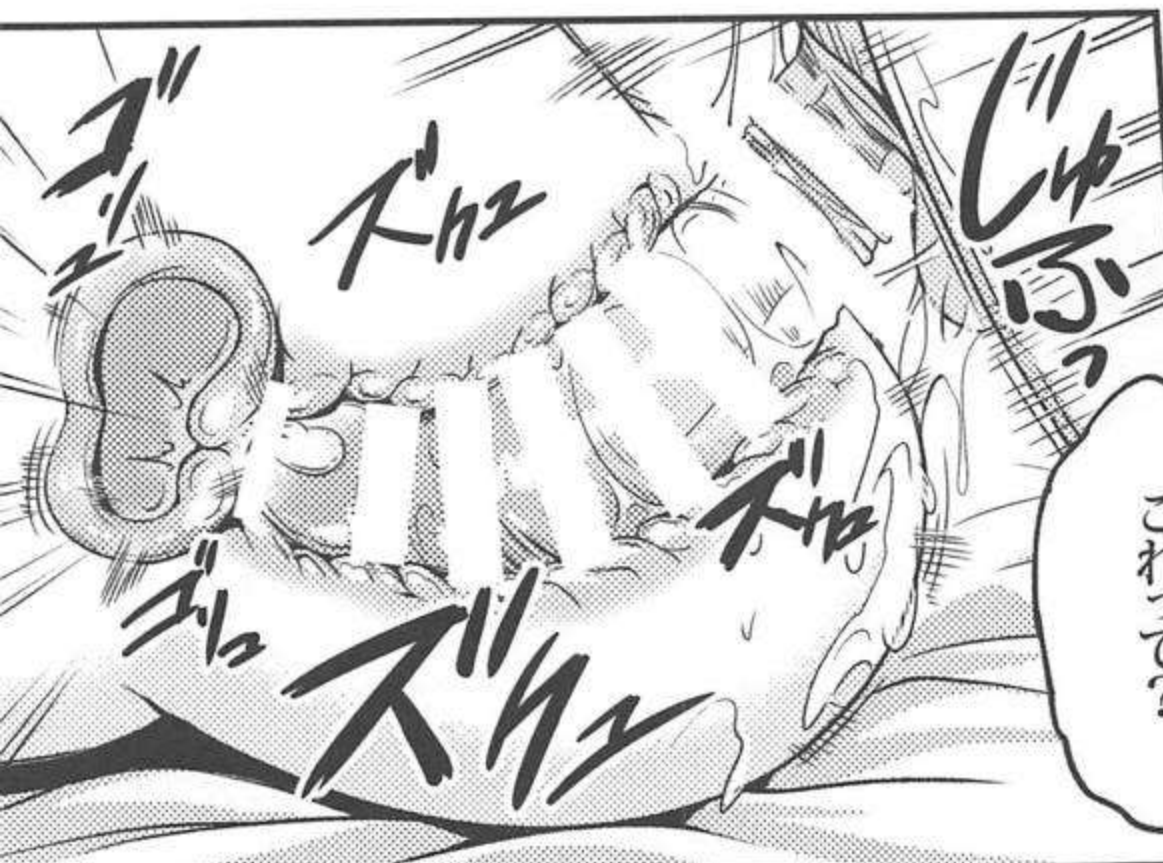


びしょっ...

びしょっ...

いっしょー！





これって？

えっ！



受け入れなさい！

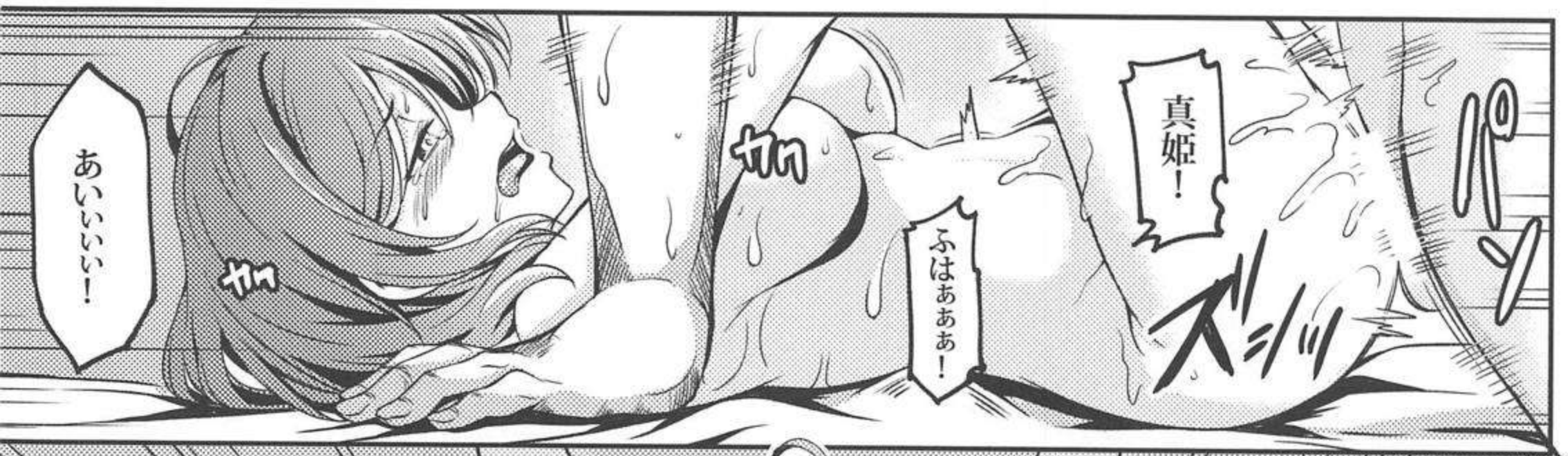
ちよつと待って……イヤ！大きい！ダメ！奥まで当たりそう！

慣れてきたら気持ちいいぞ！



怖いよおじさん……

キスして……







合わせてくれているね

あーっ

そんな感じ

んぐー!

もっとお尻を上げて



もう完全に快楽の感覚に
浸かっている

ほっ

ほっ



はっ

すすい
気持ちいい……!

真姫ちゃん
今気持ちいい
だろうか?

はっ



イクぞ!

びしょ

スパッ

びしょ

びしょ

びしょ

この頃
自分が真姫に
惚れたことに気付いた

年の差があるけれど
彼女の
心の支えになりたい!



びしょ

びしょ

びしょ

あぁ



あぁ

んぐ...



この状況じゃ
断れないんじゃない...

バカ...!



真姫、好きだ!
付き合ってくれる?

カァァ?



絶えず
セックスをしまくった

真姫
君は最高だ!

大好き...

気持ちいい...



真姫の体力には
本当に驚いた
流石に若者は違うな



最高! 大好き!

ああ!



気持ちいい!

イク!

しまった
なんかヤバイことに
目覚めさせたようだ



もっど
欲しいの〜!



ごめん
もう限界だ……
これで最後の一発だ!



んん……



ああああ

ああああ

アッ!!!

アッ...アッ...

ゴムは全部使い切ったが
真姫はまだ
満足してない様子だ
口でやるのを教えよう

そう
こんな感じだ

あ：
歯に当たった！

んぐ……

ふはあー

ああ
JKにフェラしてもらえるなんて
本当に夢をみているようだ
こんなに気持ちいいとは思わなかった！

臭いよ……
これおじさんだけ
楽しんでるじゃん

そう言ってるけど
美味しそうに
舐めてるじゃん

そ、そんな
ことないもん！

んぐ……

んぐ……

その後、俺たちは…

おはよう

ってこれは？

先輩が
外出するときにはちゃんと
変装しろって



変？

程なくして
彼女が所属している
スクールアイドルユニットが
活動再開したようだ

いや
綺麗だぞ

そう…？



今回の大会には
参加できなかったが
これを糧に次の大会の準備に
取り組むとのことだ

やっと雲が開いたね





真姫の
ライブ映像じゃないか
初めて見たよ

なに
見てるの？

うん




み、みないですよ！


なんで？

は、恥ずかしいよ……！


それに



わたしは
目の前にいるじゃない？




ちゃんとわたしを
見て！




真姫のリクエストで
俺たちは密かに
付き合い始めた



ほら



映画がそろそろ
始まるよ！



年の差は大きけど
彼女の後ろで支えられれば
俺は満足だ



跋 FREETALK

こんにちは、WindArt です。
多分これが令和の初挨拶となりますね？
(例大祭準備号は別として)

この本編はいわゆる前日談的な位置付けで、
時間軸としては恋姫シリーズ第1作目の半年ほど前、
ラブライブ!テレビアニメ第1シーズン
11~12話の間です。

物語は真姫と主人公の出会いにフォーカスし、
主人公視点でストーリーを展開している。
この中にいくつかの伏線を張っていますが、
真姫視点の次回作で補完する予定です。

今回は主に真姫の隠された一面を描きたいと
思いました。周りが思っている程に、彼女は強くない、
実は寂しがり屋で、恐怖から現実逃避して、
自分を傷つける娘です。
みなさんが思っている真姫と違うかもしれませんが
パラレルワールドだと思ってください。

本当はストーリー重視の純愛物にしたかったが
結局はセックス中心で進める展開になってしまった。

真姫の心がぽっかり空いた心境を表現するため、
ほぼ全編が雨天で、最後の最後に心の荷を
下ろした後で晴れになった。雨天の描写って、
思ったより大変ですね。

前回の恋姫から、すでに2年が経ちました。
今回は3話分、インサート方式で描く予定です。
なので、前日談だけでなく、
アフターストーリーになるかもしれません。
例えば今回は前話して、次回は真姫が高校卒業して、
留学しに行くストーリーになるかもしれません。

他のμ'sメンバーも登場する予定で、
外伝も描き足すかもしれません。

次回のコミケも恋姫本の予定です。
時間が許す限りは他の題材も描きたいね、
例えば BanG Dream 氷川姉妹の物語。

最後にみなさんにもう一度感謝を申し上げます。
ではまたノシ

WindArt2019 年夏



恋姫 LOVE MAKI!! ラブマキ!! 6 -あの雨天の出会い-

- 発行日—初版2019.08.11 コミックマーケット96
- 制作・発行—風藝WindArTeam Pixiv ID : 304854
Twitter : windarteam Plurk : windart
windarteam@gmail.com
- 翻訳—清水
- 印刷・製本—緑陽社
<http://www.ryokuyou.co.jp/>

本誌は成人向けです
18歳未満の方は閲覧・購入はご遠慮ください。

禁無断転載

恋姫 LOVE MAKI!! 6



LoveLive! School Idol Project FanBook
WINDART PRODUCED #42 / 2019 SUMMER